

本庁舎建設の基本設計ができあがりまし

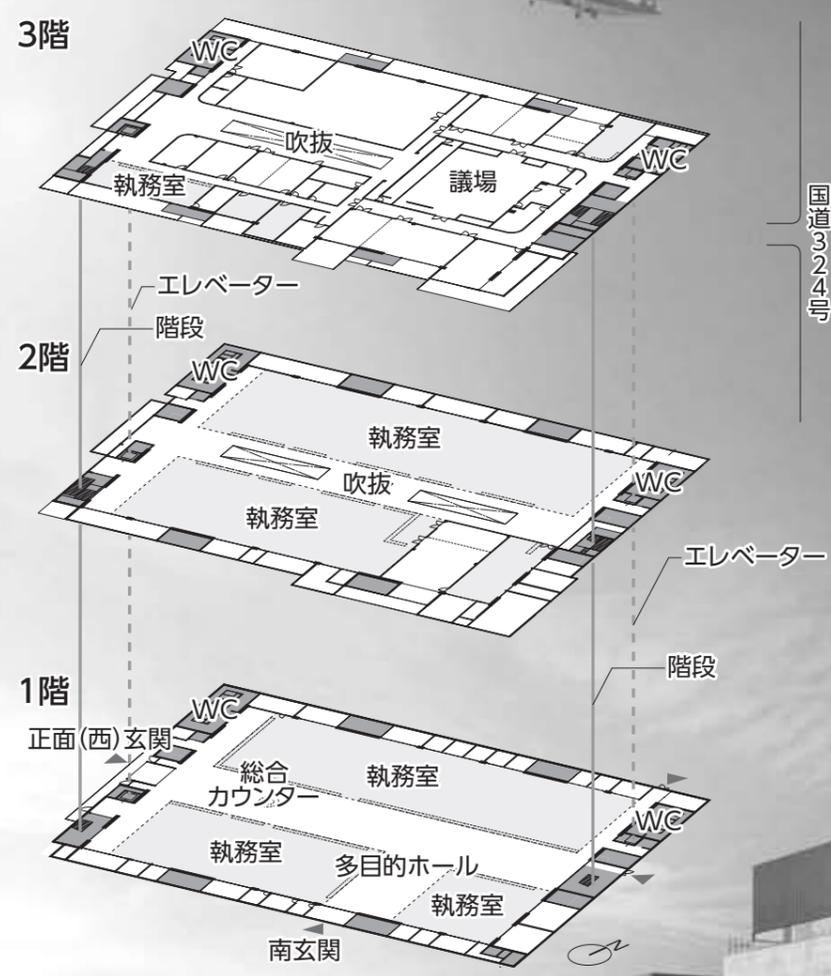
現在の本庁舎敷地に、平成31年度中の完成を目ざして建設の取り組みを進めている新しい本庁舎。建物の規模や構造・機能などの基本的な方針をまとめた「基本設計」が、このほどできあがりまし。今号では、基本設計の概要をお知らせし。詳しいことは、本庁・庁舎建設推進室 ☎23-11111へお尋ねください。

◆基本設計概要

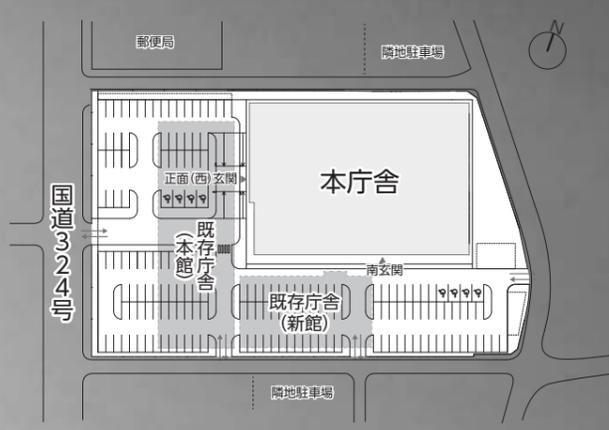
- ◆階数=地上3階、塔屋1階
- ◆棟数=1棟
- ◆建築面積=3,446㎡
- ◆延面積=約10,366㎡ (1階:約3,553㎡、2階:約3,318㎡、3階:3,312㎡、塔屋階:約183㎡)
- ◆構造種別=免震構造、鉄筋コンクリート造、一部木造
- ◆駐車台数=230台 (敷地180台、隣地50台)
- ◆駐輪台数=自転車120台、バイク20台
- ◆昇降機=エレベーター2基

※建物の屋上に突き出した部分で、階段室や設備機械室として使用するもの。

◆各階フロアの概要



◆本庁舎の配置



新しい本庁舎の外観イメージ(変更になる場合があります)

上下の移動を少なくするため 3階建てを計画

新しい本庁舎は、1フロアが約3,300㎡の3階建てを計画しています。来庁する市民の皆さんの移動をなるべく少なくして、わかりやすく利便性の高いものとするほか、周辺のまちなみとの調和を図り、親しみやすさにも考慮したものです。

このほかの概要は、上の基本設計概要をご覧ください。

1階に「市民の窓口」フロア

各階フロアの配置は、左上の各階フロアの概要のとおりです。フロアの中央に通路を配置し、上部は自然光を取り込むため吹き抜けに。通路の両側に各

部署の執務室を配置しています。

1階は市民の窓口フロアとし、戸籍や住民票をはじめ、税金、子育て、福祉など相談の窓口となる部署を配置することになっています。

防災拠点としての役割も

新しい本庁舎は、防災拠点としても重要な役割を担えるようにしています。震度7程度の大きな地震があっても、庁舎としての機能を確保できる免震構造とし、高潮による浸水想定を考慮した床の高さにしています。

また、屋外駐車場は防災広場として使えるようにしています。

「今後のスケジュール」

今後は、基本設計をもとに平成28年度中に実施設計を行い、その後、平成29・30年度に本体工事、同31年度に旧庁舎の解体工事、外構整備工事を実施。31年度中の完成を目ざします。